

単元デザインシート		学年 「単元名」	第6学年「場合の数」(全8時間)
単元の目標			
【知識及び技能】	起こりうる場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解し、適切に用いることができる。		
【思考力、判断力、表現力等】	事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。		
【学びに向かう力、人間性等】	落ちや重なりがない順序や組み合わせの求め方について、多面的に検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、生活や学習に活用しようとしたりする。		
単元を通して働かせたい見方・考え方		手立て	
<ul style="list-style-type: none"> ・起こり得る場合を図や表に表し、順序よく整理する。 ・落ちや重なりがないように調べる方法を考える。 ・あるものを固定するなど、観点を定めて整理して考える。 ・規則性に着目して、より簡潔に数える方法を考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えた様々な整理の仕方を提示し、より簡潔で分かりやすい考え方について比較する場を設定する。 ・表・図・樹形図などのよさや、用いる場面についてクラスログにまとめ、必要に応じて参考にできるようにする。 ・日常生活の中で並べ方や組み合わせ方を活用する場面の想起を促し、児童が生活の中での活用を意識できるようにする。 	
時間	目指す児童の姿	働かせたい見方・考え方	
1	並べ方が何通りあるかについて、落ちや重なりがないように調べる方法を理解している。	情報を記号で表し、図や表に整理して考える。 最初に乗る乗り物を固定して考える。	
2	全部から一部を取り出して並べる場合について、図などを用いて落ちや重なりがないように調べることができる。	落ちや重なりがないように図や表に整理して考える。	
3	同じことを繰り返し行う場合の数について、図を用いて整理して考えている。	学習した調べ方が、繰り返し行う場合にも活用できないか考える。 規則性やパターンに着目し、効率よく数える。	
4	いくつかのものの中から順番に関係なく二つを選んだ時の組み合わせ方の総数について、図や表を用いて考えている。	生活経験を想起し、学習した調べ方や図や表で考える。 規則性やパターンに着目し、効率よく数える。	
5	4種類から3種類を選ぶ時の組み合わせの総数について、図や表を用いて考え、説明している。	学習した調べ方や図や表で考える。 より簡単に調べられる方法について考察する。	
6	学習した内容を生かして、並べ方や組み合わせ方についての問題を作ることができる。	日常生活の場面を算数の問題として捉え、条件を整理して問題を作る見通しをもつ。	
7	友達が作った問題について、状況に合った解き方を判断し、図や表を用いて解き合うことができる。	調べる場面に合わせて、図や表を活用して考える。 より簡単に調べられる方法について考察する。	
8	並べ方や組み合わせ方の総数の求め方を理解し、図や表を用いて求めることができる。 単元を通して新たに分かった考え方や、学習や生活で活用できる場面について振り返っている。	調べる場面に合わせて、図や表を活用して考える。	

9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		